



自主 友愛 好學

薩摩川内市立川内中央中学校

自主 友愛 好學

「何が好きかで自分を語る…」

校長 上栗 博文

15日(日)に第43回体育大会が開催されました。前日まで台風の接近が心配されましたが、当日は体育大会の開催をお祝いするような絶好の天候に恵まれました。開会式から、生徒たちの熱い思いや気迫などが感じられ、一つ一つのプログラムを通して、中央中の生徒のよさが思う存分発揮された素晴らしい体育大会になりました。当日は、保護者や地域の皆様など多くの方々にご参観いただきました。特に、PTA生活指導部の方々には、暑い中、駐車場誘導や会場の見回りなどのご協力をいただき、誠にありがとうございました。多くの皆様のご理解とご協力のおかげで、生徒たちが精一杯取り組む姿に感動が溢れる体育大会になりましたことを心から感謝いたします。



さて、話は変わりますが、皆様もすでにご存じのとおり、本年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校は、国語・数学ともに正答率が全国・県平均を上回る素晴らしい結果となりました。特に、本校が重点的に取り組んでいる「書く力」や「表現力」に関わる、記述式の問題や「思考・判断・表現」に関する問題の正答率が大きく上回るなど、これまでの取組の成果が着実に表れた結果となりました。今後も、学力向上を目指した全校体制の取組を推進していきます。

しかし、本調査と併せて実施された生徒質問紙の結果からはいくつかの課題が明確になりました。特に、昨年度同様、本校生徒の自己肯定感が全国・県の平均より低いことは大きな課題であると考えます。自己肯定感とは、自分自身を認め、物事を前向きに捉えることができる感覚で、意欲をもって積極的に生きていくうえで必要な要素です。自己肯定感が高い人は、たとえ失敗してもあきらめず、次への意欲をもち続けることができます。それは、「生きる力」につながり、幸福度を高めることにもなります。

この自己肯定感を高める簡単な方法の一つに「『ありがとう』をたくさん言う」ことがあります。「ありがとう」を伝えられた側はうれしい気持ちになり、伝えた側も良い気分になります。「ありがとう」を言い合える関係は、お互いを認め合っているからこそ成り立っており、それは自己肯定感を高め合うことに直結しています。また、褒めることも有効な方法の一つです。先日の体育大会をはじめ、2学期は生徒の頑張りをたくさん見る機会があると思います。保護者や地域の皆様とのよりよい連携を図り、生徒のよさを認め、伸ばしていく2学期になるよう取り組んでいきたいと思っています。

「何が嫌いかわかり、何が好きかで自分を語れよ。」

漫画「ワンピース」の主人公ルフィの言葉です。自分のよさを認め、思う存分発揮する中央中の生徒をめざし、これまで同様、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果(令和6年4月18日実施 3年生対象)

教科	全体 観点別/問題形式	平均正答率				
		本校	県	全国	県との差	全国との差
国語	全体	59.0	56.0	58.1	+3.0	+0.9
	知識・技能	61.0	61.2	62.0	-0.2	-1.0
	思考・判断・表現	57.4	52.6	55.4	+4.8	+2.0
	記述式問題	46.4	43.3	45.5	+3.1	+0.9
数学	全体	55.0	50.0	52.5	+5.0	+2.5
	知識・技能	63.6	60.5	63.1	+3.1	+0.5
	思考・判断・表現	36.1	26.9	29.3	+9.2	+6.8
	記述式問題	36.1	26.9	29.3	+9.2	+6.8

今年4月に3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果です。本校の全体の平均正答率は、国語・数学ともに県・全国を上回り、国語は県差(+3.0)・全国差(+0.9)、数学は県差(+5.0)・全国差(+2.5)となっています。また、2教科とも「思考・判断・表現問題」・「記述式問題」が県・全国を上回り、特に数学においては、全国を6.8ポイントも上回る結果となりました。国語の「知識・技能問題」が県・全国より若干のマイナスとなっています。今後、結果分析を基に、良かった点を更に伸ばし、課題となる点については、しっかりと対策を講じて本校生徒の更なる学力向上に取り組んでいきたいと思っております。

「始動」実り多き2学期へ(体育大会, インターンシップ, 教育実習)

2学期が始まり、3週間が過ぎました。この間、体育大会の開催、各大学からのインターンシップや教育実習等、とても活気のある学期始めとなっています。様々な行事や他者とのふれ合いを通して、子どもたちにとって実り多い学期になることを願っています。



居場所・絆づくり

「本の魅力」・「読書のすすめ」 ～ 教育実習生に聞きました。～

私が考える「本を読むことの魅力」について二つ紹介させていただきます。一つ目は自分の知らない世界を知ることができるということです。例えば「ハリーポッター」に出でくるような不思議な魔法の世界。私たちが知らないだけで、実は近くにあるかもしれない。そんな不思議な世界へとバツと本を開くだけで訪れることができる。とても魅力的だと思います。

二つ目は、学校での学びをより魅力的にしてくれるということです。皆さんは学校で学ぶ中で、疑問に思うことやもっと知りたいと思うことがたくさんあると思います。そんな疑問や探究を解決してくれるのが本です。国語の物語でわからないことや、社会の歴史で不思議に思ったこと、その答えが図書室に隠れていることがきっとあると思います。答えがわかれば、学校での学びもより楽しく魅力的になるでしょう。(教育実習生 楠生 宗大)

読書の魅力は、読み手が本の内容を疑似的に体験できることです。ミステリー小説はその最たるモノですね。登場人物に自らを投影し、その舞台を歩くことができるのは、創作物の特権ですね。これに加えて、本にしかないのはその種類の多さでしょう。ドラマやアニメ、ドキュメンタリーに漫画、それら全てを併せても超えることのない、圧倒的なジャンの数こそ、本の魅力と言えるでしょう。ぜひ、あなたのお気に入りの一冊を探してください。(教育実習生 大井 悠瑚)